

2017年12月19日

SCSK株式会社

サインポスト株式会社

SCSKとサインポスト、流通小売業のレジ無人化に向け協業 ～「完全スルー型レジシステム」および「設置型 AI レジ」の共同開発契約を締結～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員:谷原 徹、以下 SCSK)とサインポスト株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 蒲原 寧、以下 サインポスト)は、流通小売業の店舗におけるレジの無人化を目指して、サインポストが画像認識技術と人工知能技術(AI)を活用した「完全スルー型レジシステム(スーパーワンダーレジ)」の製品化およびすでにサインポストが製品化している「設置型 AI レジ(ワンダーレジ)」の改良において、2017年11月からの共同開発契約を締結しました。

1. 背景

現在、流通小売業をはじめとするサービス業では人材不足が深刻化し、業界全体に対しても政府から労働生産性の向上目標を設定され、事業運営において業務効率化への取り組みは重要な経営課題となっています。また、一方で、社会環境・人口構造が変化し、お客様の消費行動やライフスタイルにあわせた多様なサービス提供が求められています。

こうした業界全体での課題解決に向けて、最先端の IT 技術を活用することにより流通小売業の人材不足問題や業務効率化の一助となるべく、SCSKとサインポストは共同で「レジレス※」への取り組みを進めることにいたしました。

※レジレス:流通小売業の店舗において物理的なレジの機器、場所、要員を必要としない状態

2. AIを活用したレジの無人化

流通小売業にとってレジは、お客様との接点であると同時に多くのコストが発生する部分でもあります。食品スーパーのような業態の場合、売上の約2%がレジ要員や機器に関するコストになっていると言われています。そのため、今までも「POS レジ」「バーコード」「セルフレジ」「セミセルフレジ」といった、人材不足を補う大きな改善や業務効率化への取り組みを繰り返しています。

ここ数年では、AIの進化に伴いレジへのAI活用も大きなテーマとなっています。SCSKとサインポストは、その中でもAIを用いた画像認識技術の活用によるレジ機能の開発を共同で進めることにしました。両社では、主に「完全スルー型レジシステム(スーパーワンダーレジ)」と「設置型 AI レジ(ワンダーレジ)」にてレジの無人化を目指し、人手不足の解消や店舗業務効率化に寄与するサービスを開発していきます。

3. 共同開発・提携内容について

SCSKとサインポストは共同開発契約を締結し、両社で協業してレジシステムを開発すると同時に、開発したレジシステムについてはSCSKが販売権を得ることで合意しております。

なお、両社で共同開発し事業展開するサービスは以下の内容です。

1) 設置型 AI レジ(ワンダーレジ) ※別紙写真1参照

商品のパッケージや文字などの自動認識により、バーコードやタグに頼ることなく、ワンダーレジに商品を並べるだけで精算ができるレジシステムです。

商品そのものを認識する当 AI 技術は、バーコードの無い生鮮食品なども認識できる点、また、タグのコストやタグを商品に貼る人手が不要である点に優位性があります。

2) 「完全スルー型レジシステム(スーパーワンダーレジ)」 ※別紙写真 2 参照

上記ワンダーレジに搭載している技術を発展させ、買物客が店舗内でカートやカゴに購入する商品を出し入れする時に都度自動で精算し、決済ゲートを通過する際に IC キャッシュカードや現金などの支払い方法を選択しその場で決済を完了させるレジシステムです。買物客のレジ待ちを解消するとともに、従来のレジスターやレジ要員を必要としない画期的な仕組みとなります。

2017 年 10 月 13 日に一般社団法人日本スーパーマーケット協会が開催したアニュアルセミナー展示会において、「完全スルー型レジシステム(スーパーワンダーレジ)」の体験デモコーナーを開設し、多くの小売関係者の方々にご体験いただきました。また、2017 年 11 月 20 日から 1 週間、JR 東日本様のイベントで大宮駅において「完全スルー型レジシステム(スーパーワンダーレジ)」の実験店舗を開設し、一般のお客様にお買い物を体験いただきました。

事業対象とするレジシステム

レジタイプ	製品化	導入予定先
1) 設置型 AI レジ(ワンダーレジ)	レジ開発済 (今後量産化)	コンビニエンスストアなど商品の購入点数が少ない店舗やレジ
2) 完全スルー型レジシステム (スーパーワンダーレジ)	共同開発中	スーパーマーケット、ディスカウントストア、ドラッグストアなど多くの商品を購入する店舗

4. 今後の展開

サインポストが持つ画像認識技術および人工知能技術(AI)による単独での事業に、SCSKが持つ開発力、販売力、国内外ネットワークなどを活用することで、両社が一体となり事業展開を加速していきます。さらに、オープンイノベーションを志向し技術開発および事業展開を進めていきます。

SCSK株式会社について

システム開発から IT インフラ構築、IT マネジメント、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)、IT ハード・ソフト販売まで、ビジネスに必要なすべての IT サービスを、フルラインアップで提供。

サインポスト株式会社について

「お客さまの IT 部門の一員」として、お客さまの経営・業務課題を解決するために IT 技術を活用し、コンサルティング事業、ソリューション事業、イノベーション事業の 3 つの事業を展開。

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】
SCSK株式会社 流通システム事業部門
事業推進グループ 事業戦略部 菅野・田崎
TEL:03-5859-3757

【報道関係お問い合わせ先】
SCSK株式会社
広報部 後藤
TEL:03-5166-1150

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】
サインポスト株式会社
イノベーション事業部 奥井・波川
TEL:03-5652-6031

【報道関係お問い合わせ先】
サインポスト株式会社
イノベーション事業部 奥井・波川
TEL:03-5652-6031

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

別紙

写真1 設置型 AIレジ(ワンダーレジ)



人工知能がレジに並べた商品を特定



電気通信大学生協にて実証確認中

写真2 完全スルー型レジシステム(スーパーワンダーレジ)



① 欲しい商品を棚から取り出すと人工知能が商品を特定



② 買い物客は決済エリアで会計結果を画面で確認した後



③ 電子マネーなどで決済



④ 決済完了後出口ゲートが開き退店